建築研究所ニュース

令和６年１１月２５日

「令和６年度国立研究開発法人建築研究所 講演会」を開催
～最新の研究開発成果をご紹介します～

建築研究所における研究成果や調査活動の発表を通じて、住宅、建築及び都市の各分野における最新の技術情報を広く一般の方々に提供することを目的として、「令和６年度国立研究開発法人建築研究所 講演会」をつくばカピオホールにて開催いたします。昨年度と同様に、会場と同時オンライン配信のハイブリッド方式で行います。

今年度は、特別講演として、早稲田大学の田辺新一教授をお招きし、「2040年に向けた住宅・建築・都市のカーボンニュートラル」と題してご講演をいただきます。

また、当研究所が取り組んでいる研究活動を中心に、各分野における研究開発の最新情報をご紹介します。さらに、会場のホールロビーでは、研究成果等をパネル展示いたします。

1. 開催概要

日　　時：令和 7 年 2 月 21 日（金）13 時 00 分～17 時 15 分（開場 12 時予定）
＊事前登録制、座席自由となっております。ライブ配信あり。

会　　場：つくばカピオホール（茨城県つくば市竹園１丁目１０－１　１階）

参 加 費：無料

プログラム：次のページをご覧ください。
＊本講演会は、建築士会ＣＰＤ制度の認定プログラムです。

申込方法：参加ご希望の方は、12 月下旬頃より下記ＨＰ及び QR コードにて事前申し込みをお願いいたします。

https://www.kenken.go.jp/japanese/research/lecture/r06/index.html

2. 特別講演

早稲田大学教授　田辺新一 氏

「2040 年に向けた住宅・建築・都市のカーボンニュートラル」

プロフィール

1958 年福岡県生まれ

早稲田大学理工学部建築学科卒業
専門分野は建築環境学、工学博士

デンマーク工科大学、カリフォルニア大学バークレー校、
お茶の水女子大学助教授を経て、
早稲田大学創造理工学部建築学科教授・
早稲田大学スマート社会技術融合研究機構（ACROSS）機構長
空気調和・衛生工学会会長（2018～2020 年）
日本建築学会会長（2021～2023 年）

2020 年度文部科学大臣表彰科学技術賞を受賞
主な著書に「住環境再考」、「ゼロ・エネルギーハウス」、
「なぜ住まいのカーボンニュートラルは進まないのか?」、
「異次元エネルギーショック」他

3. 一般講演

建築研究所における主な研究成果等、住宅・建築・都市分野における研究開発に関する最新の情報をご紹介いたします。

一般講演一覧

演　　題	担当研究者
建築物の耐震レジリエンス性能に関する研究開発	構造研究グループ 主任研究員　坂下 雅信
地盤の非線形性を考慮した構造物の応答解析手法に関する検討	国際地震工学センター 主任研究員　中川 博人
火災時のエレベーター利用避難の実用化に向けて ～避難者の心理・行動の制御を中心に～	防火研究グループ 主任研究員　峯岸 良和
戸建て住宅の浸水対策に関する支出意向の調査結果	住宅・都市研究グループ 主席研究監　竹谷 修一
BIM 建築確認の実施を踏まえた、これからの建築研究所における BIM 研究の展開	建築生産研究グループ 主席研究監　武藤 正樹
建築材料分野における AI を活用した画像診断支援ツールの事例紹介 ～外装仕上材を対象とした劣化度診断のハイサイクル化～	材料研究グループ 主任研究員　中田 清史
建築物の ZEB 化と快適性の両立に向けて ～窓・開口部と空調・照明の一体的な省エネ性能評価手法の開発～	環境研究グループ長 三木 保弘

4. パネル展示

会場ロビーでは、パネルを展示しております。

パネル展示一覧

パネル内容	担当研究者
鉄骨造建築物の耐震レジリエンス性能に関する研究開発 ～事務所ビルの修復時間等の計算方法の提案と計算事例～	構造研究グループ 研究員　長谷川 隆
木造建築物の耐震レジリエンス性能に関する研究開発	構造研究グループ 主任研究員　中島 昌一
都市の暑熱対策における人流データの活用	環境研究グループ 主任研究員　熊倉 永子
人の適応過程が及ぼす快適な作業スペースの輝度色度分布と開口部・照明の工夫	環境研究グループ 研究員　佐野 智美
大規模建築物の内部延焼拡大防止技術と評価手法の開発	防火研究グループ 主任研究員　鈴木 淳一
ドローンの社会実装に向けた取り組みと派生研究領域への展開	材料研究グループ 上席研究員　宮内 博之
公共建築工事における多様な発注・契約方式の活用状況に関するアンケート調査結果の分析（5県分）	建築生産研究グループ 主任研究員　田村 篤
エンプティネスト世帯の住み替えの実態及び意向に関する分析	住宅・都市研究グループ 主任研究員　今野 彬徳
日常災害防止を目的とする押し入れ改修型浴槽レス浴室の被験者実験と利用者に応じた平面寸法の提案	住宅・都市研究グループ 研究員　津留﨑 聖斗
重要建物の地震リスク対策強化 ～新しい短期地震工学研修を開始しました～	国際地震工学センター 主任研究員　渡邊 秀和

※ 内容については変更する場合がありますので、予めご了承ください。

【お問い合わせ先】
国立研究開発法人　建築研究所
所属　企画部企画調査課
氏名　田代 光伸
電話　029-879-0644
E-mail　kouenkai@kenken.go.jp

令和6年度 国立研究開発法人
建築研究所講演会

建築研究所講演会は、年に一度、建築研究所の研究開発成果や調査活動の報告を通して、
住宅・建築・都市分野における最新の技術情報を広く一般の方々に提供するために開催しています。

参加無料
要事前登録・座席自由
ライブ配信も予定

特別講演
2040年に向けた住宅・建築・都市のカーボンニュートラル

日時
令和7年2月21日(金)
開場：12時00分　開会：13時00分

会場
つくばカピオホール
茨城県つくば市竹園1丁目10-1 1階

プログラム

13:00	開会	諸説明	(司会) 企画部長　藤井 利幸
13:05	-	理事長挨拶	理事長　澤地 孝男
13:10	講演1	建築物の耐震レジリエンス性能に関する研究開発	構造研究グループ 主任研究員　坂下 雅信
13:32	講演2	地盤の非線形性を考慮した 構造物の応答解析手法に関する検討	国際地震工学センター 主任研究員　中川 博人
13:54	講演3	火災時のエレベーター利用避難の実用化に向けて ～避難者の心理・行動の制御を中心に～	防火研究グループ 主任研究員　峯岸 良和
14:16	講演4	戸建て住宅の浸水対策に関する支出意向の調査結果	住宅・都市研究グループ 主席研究監　竹谷 修一
14:38	休憩		
14:53	講演5	BIM建築確認の実施を踏まえた、 これからの建築研究所におけるBIM研究の展開	建築生産研究グループ 主席研究監　武藤 正樹
15:15	講演6	建築材料分野におけるAIを活用した 画像診断支援ツールの事例紹介 ～外装仕上材を対象とした劣化度診断のハイサイクル化～	材料研究グループ 主任研究員　中田 清史
15:37	講演7	建築物のZEB化と快適性の両立に向けて ～窓・開口部と空調・照明の一体的な 省エネ性能評価手法の開発～	環境研究グループ長 三木 保弘
15:59	休憩		
16:14	特別講演	2040年に向けた 住宅・建築・都市のカーボンニュートラル	早稲田大学 教授　田辺 新一
17:14	終了予定		

早稲田大学
田辺（たなべ） 新一（しんいち） 教授

1958年福岡県生まれ / 早稲田大学理工学部建築学科卒業 / 専門分野は建築環境学、工学博士 / デンマーク工科大学、カリフォルニア大学バークレー校、お茶の水女子大学助教授を経て、早稲田大学創造理工学部建築学科教授・早稲田大学スマート社会技術融合研究機構（ACROSS）機構長 / 空気調和・衛生工学会会長（2018～2020年） / 日本建築学会会長（2021～2023年） / 2024年2020年度文部科学大臣表彰科学技術賞を受賞 / 主な著書に「住環境再考」、「ゼロ・エネルギーハウス」、「なぜ住まいのカーボンニュートラルは進まないのか?」、「異次元エネルギーショック」他

CPD CONTINUING PROFESSIONAL DEVELOPMENT 建築士継続能力開発

主催・問い合わせ先
国立研究開発法人 建築研究所
企画部企画調査課
TEL.029-879-0638
https://www.kenken.go.jp

申込期限 令和7年 2月14日(金) 17時
左記のQRコードよりお申し込みください。
定員に達し次第受付終了とさせていただきます。
予めご了承ください。